

議案第66号

化学消防車の取得について

下記のとおり化学消防車を取得するにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年三田市条例第12号）第3条の規定により、議会の議決を求める。

平成28年8月17日提出

三田市長 森 哲 男

記

1 取得数量

1台

2 取得の目的

災害の多種多様化に伴い、消火能力の強化及び被害の軽減等を図り、市民の安心・安全を守る。

3 取得金額

63,396,000円

4 取得の相手方

兵庫県三田市テクノパーク2番地3

株式会社モリタ 関西支店

支店長 合 田 努

化学消防車の概要

1 概 要

最新のC A F S (圧縮空気泡消火システム)、泡消火薬剤混合装置及び水槽(1, 500リットル)、薬液槽(500リットル)を搭載した化学消防車は、市内危険物施設での火災に迅速に対応するため更新するが、一般火災にも対応できる仕様となっており、空気を含んだ泡を放射し少ない水量で大きい消火能力を有するという機能も装備している。これら最新の機能を使用することにより、危険物火災への適切な対応や一般火災での水損の防止及び被害の軽減を図り、市民の安心・安全を守るものである。

2 化学消防車の構造

区分	化学消防車	現行の化学消防車	比較
車体全長 (mm)	7, 300	7, 250	+50
車体全幅 (mm)	2, 350	2, 280	+70
車体全高 (mm)	3, 200	2, 860	+340
室内長 (mm)	2, 000	1, 950	+50
室内幅 (mm)	2, 500	2, 400	+100
室内高 (mm)	1, 800	1, 400	+400
積載水 (L)	1, 500	1, 500	0
泡薬剤 (L)	500	500	0

※数値については、カタログ上のものであり、実車の数値とは異なる場合がある。

3 艀装・積載品

C A F S (圧縮空気泡消火システム)、水槽(1, 500リットル)、薬液槽(500リットル)、泡消火薬剤混合装置、オールシャッター、ハイルーフキャブ、放水銃、照明装置、可搬ポンプ、その他

(1) C A F S (圧縮空気泡消火システム)

水と泡薬剤を混合した泡溶液に圧縮空気を注入し、泡を生成、放射する装置

で、少ない水で圧倒的な消火能力を発揮し、水損防止など被害を最小限に止めることができる。

(2) 水槽（1, 500リットル）、薬液槽（500リットル）

消防ポンプ自動車用シャーシの8トンボディー（車両総重量11トン）を使用し、化学消防車Ⅱ型としては最大量の消火水及び薬液を積載できる。

(3) オールシャッター

オールシャッター仕様とすることで資機材積載量が格段に向上する。

(4) ハイルーフキャブ

広い天井と広い足元空間を有し、キャビン内での活動（空気呼吸器の装着等）をスムーズに行うことができる。